

フェイクニュースに惑わされないで！

フェイクニュース(ニセ情報・誤情報)による混乱が社会問題となっています。状況によっては、災害救助の妨げになるなど、人命に関わるケースもあります。安易に投稿を拡散させないよう心がけましょう。

事例

架空の住所・氏名等を記載した救助要請
AIなどで生成した偽画像を添えた被害報告



注意するポイントは...

- ▶ 専門家や著名人だからといって正しいとは限りません！
- ▶ 海外ニュースや論文が悪用されがち。よく見ると関係のない情報だったりします。注意して下さい！
- ▶ センセーショナルで派手な見出しには特に注意を！
- ▶ 私は「騙されるかも」「見分けられないかも」と身構える意識が重要です！
- ▶ 拡散したくなる情報は特に怪しい。そのフェイク拡散を止められるのはあなたです！
- ▶ 拡散させる前に2~3日待って。
フェイクなら誰かが指摘するはずです！



監修:サイバー犯罪対策技術顧問 小木曾 健(国際大学GLOCOM客員研究員)

